



F-Plus Inc.

現場主義の プロジェクト マネジメント 説明資料

株式会社F-Plus
Engineering Sec.

現場主義の プロジェクト マネジメント（PM）

「企画から製造まで、貴社のプロジェクトを
「圧倒的成果」に変える



設計側の方へ

「どれだけ頑張っても進まない——その理由は“設計の仕組み”にあります」

製造側の方へ

「図面・工程・設備が繋がらず迷走する——その問題は“仕組み”です」

PJ推進側の方へ

「誰も全体を見れていない——そのPJは“構造”が止めています」

構造：PJの進め方、組織の仕組みそのものが、うまく機能していない状態

経営者の方へ

「どれだけ頑張っても進まないPJ——問題は“仕組み”にあります」

プロジェクトマネジメント支援のストーリー

PJの不具合症状



問題課題
チェックシート

不具合症状の原因



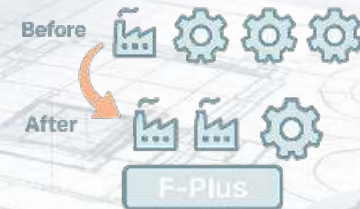
水面下に潜む6つの真因

F-Plusの
推進方法



「成果の保証」
までコミット

推進方法
による構
造変革



統合管理

自律自走
を目指す



自律自走化への
出口戦略

課題解決チェックシート：貴社の現場にこんな「症状」はありませんか？



✓ 素晴らしい設計や計画があるが、製造現場に降りると必ず日程が遅延する

✓ 部門間の連携が取れず、問題が起きた際に「責任の押し付け合い」が発生する

✓ 過去にコンサルに依頼したが、現場の反発に遭い、レポートが埃をかぶっている

✓ 誰もが日々の業務に追われ、社内の誰も「抜本的な改革」を牽引できない

一つでも当てはまるなら、F-Plusの「**現場主義PMソリューション**」が「**突破口**」になります
我々は、貴社と共に汗を流す準備ができています

一般的なPMプロセスは、なぜ製造現場で機能しにくいのか？



理論

現場での現実

完璧な
設計図面

高度な戦略

PMプロセス
準拠の計画

管理業務が苦手
(スケジュールの遅延)

設計意図が伝わらない
(品質不安定)

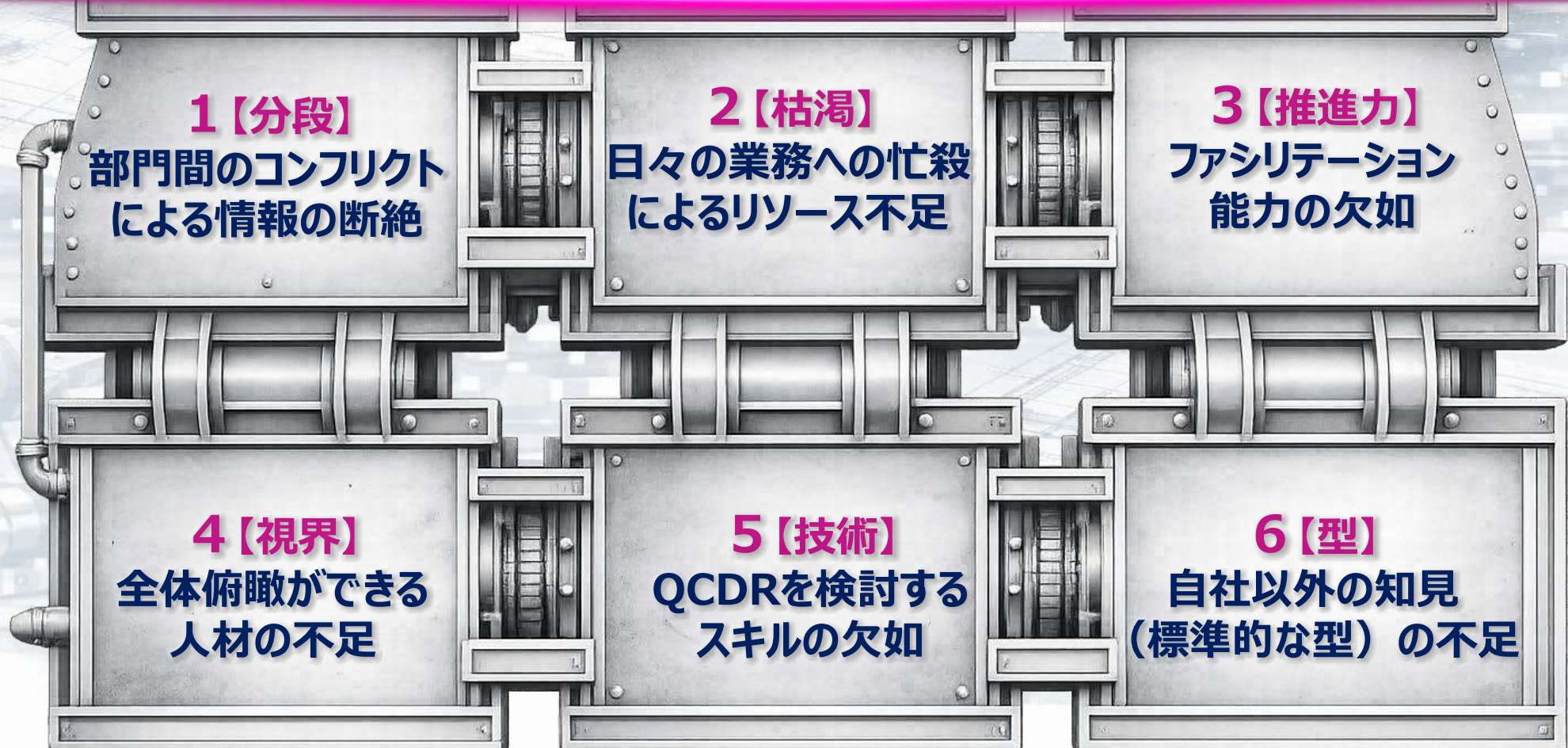
資源の競合
(部門間コンフリクトの発生)

理論上の「計画の完成」と、泥臭い「現場での完成」の間には、見えない巨大な壁が存在します

素晴らしい計画を阻む「実行の壁」と、水面下に潜む 6 つの真因



実行の壁：「日々の業務の忙殺」によるプロジェクトの停滞



自律自走を阻む【壁】とは？



私たちは「提案」で終わらせない！「成果の保証」までコミットします！

従来のコンサルタント

「助言」までで止まりやすい

役割	アドバイス中心の第三者
焦点	机上の空論・きれいな倫理論
納品物	分厚いPDFレポート
手法	一般的なPMプロセス標準に沿った支援

壁を超える



第三者の視点
X
当事者の推進力

F-Plus

「成果」まで共に背負う

	成果まで責任を共に背負うパートナー
焦点	現場の泥臭い実現・実行
納品物	現場の行動変容と圧倒的成果
手法	PMの枠を超え、技術・現場・全体最適を融合

この壁を打ち破るのは、客観的な「第三者」の視点と、共に汗を流す「当事者」の熱量！
F-Plus = 「考える」だけでなく「つくる・うごかす・定着させる」総合技術集団！

統合管理：企画から製造まで「情報の断絶」を繋ぐ接着剤



Before



After



F-Plus PMソリューションは、前工程の意図を次の工程に正しく「翻訳」する役割を担います
部門間の壁を取り払い、一貫したモノづくりを力強く実現します

3つの共通基盤がもたらす構造的変革



Before（分段）



【組織】
対象：部門間連携

部門ごとの部分最適化
責任境界での情報の押し付け合い

After（F-Plus 統合）

F-Plusをハブとした部門横断的な
連携
全体最適化されたチームの構築



【プロセス】
対象：開発工程と
ドキュメント

各担当者が独自のフォーマットで
作成
検索や再利用が困難

開発工程とドキュメントの完全な
標準化
意図が劣化せずに後工程へ流通

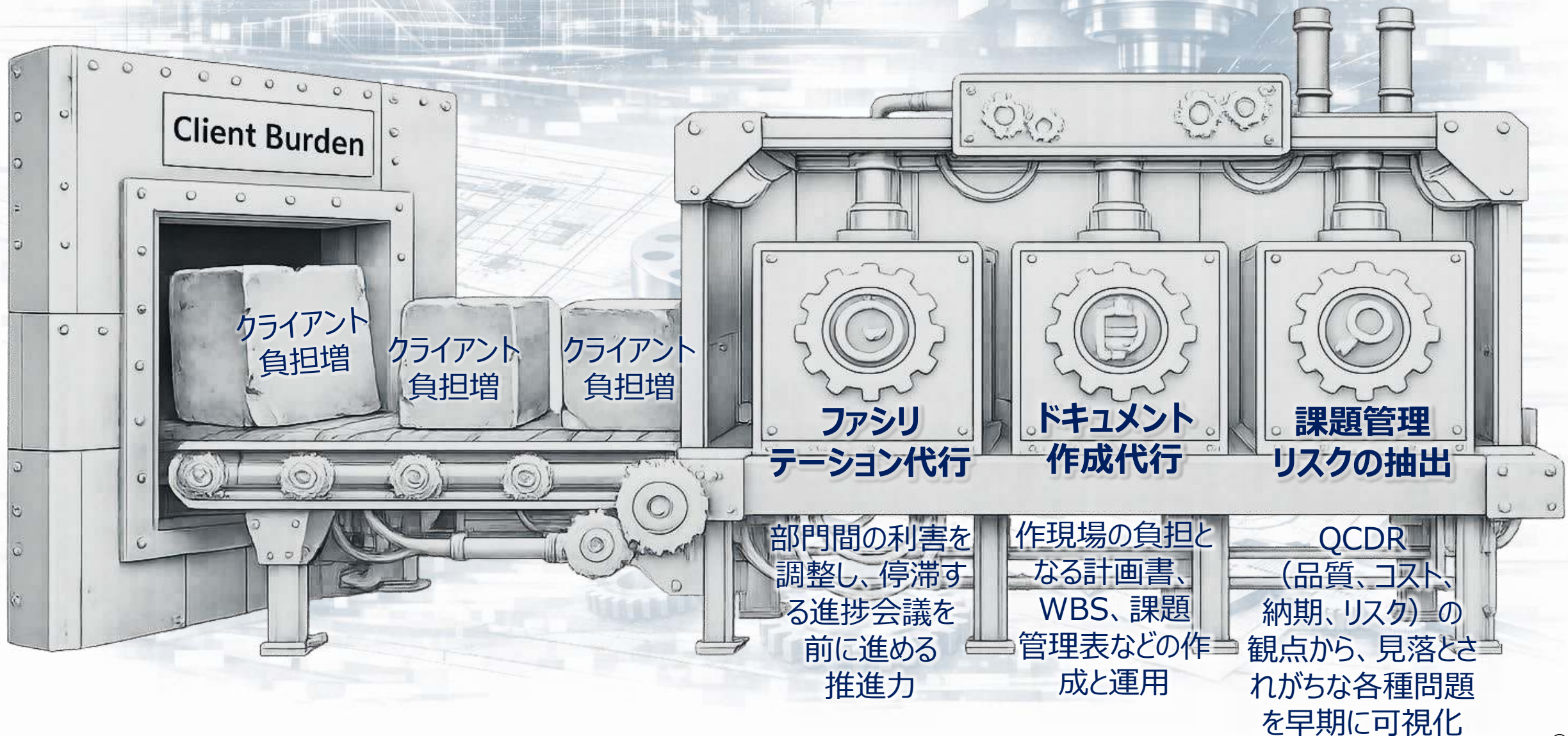


【人】
対象：スキル定義
と教育

属人的な暗黙知への依存
技術伝承の停滞

設計者・作業者の明確なスキル
定義
標準化されたプロセスに基づく
効率的な教育

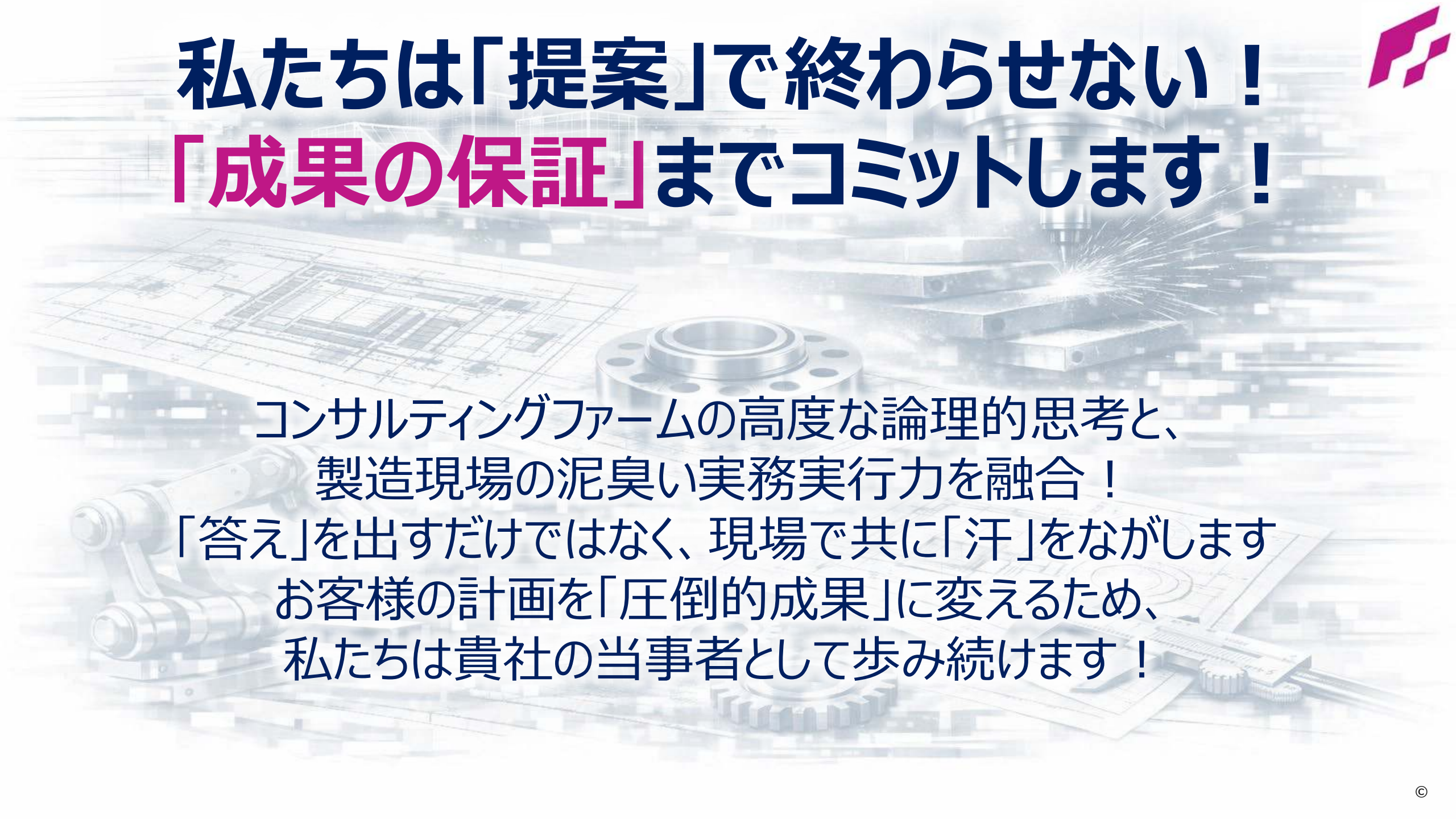
計画を描くだけではない！実務を巻き取る「PM代行」のカバー範囲



自律自走化への出口戦略「3Step」



F-Plus が去った後も**進化し続ける組織**こそが、私たちが提供する**最大の投資対効果**です！
最大の投資対効果は**【変化に強い現場】**の構築です！



私たちは「提案」で終わらせない！ 「成果の保証」までコミットします！

コンサルティングファームの高度な論理的思考と、
製造現場の泥臭い実務実行力を融合！
「答え」を出すだけではなく、現場で共に「汗」をながします
お客様の計画を「圧倒的成果」に変えるため、
私たちは貴社の当事者として歩み続けます！



プロジェクトマネジメント 支援

事例集

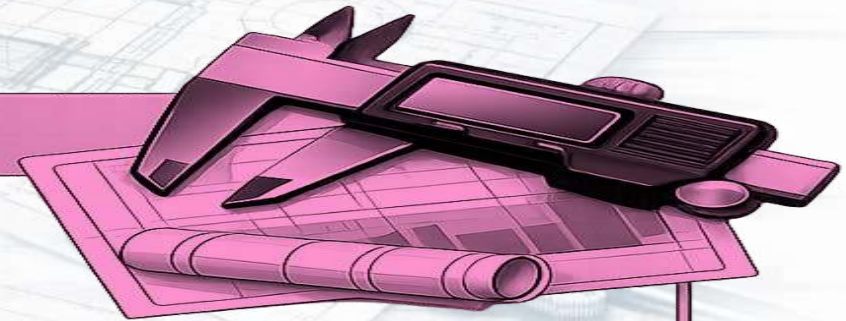




事例 1：潜在問題を潰し、手戻りを撲滅する【真のDR】

～単なる発表会からの脱却と、根本審査へのプロセス変革～

【発表会的なDR】を今すぐ終わらせる



適切な基準と、準備－フォローの徹底で、手戻りゼロの「真のDR」を実現！

✕ Before : 潜在問題が放置される現状

発表会的なDR

単なる「発表会」と化したDRでは、根本的な審査ができず潜在問題が放置されます
結果、開発後期で大きな「手戻り」が発生！

公差設計が曖昧で、
組立成立性が不明瞭

材料選定の根拠が
薄く、耐久性に不安

干渉チェックは済んで
いるか？

製造要件が図面
に未反映で試作
手戻り必至

ここ、型抜きできないの
では？



○ After : 「真のDR」による手戻り撲滅

タスクと振る舞いの再定義

- ・各開発フェーズ（試作形状合意、製造性判断など）におけるDRの目的、主催者、参加者の「タスクと振る舞い」を明確化

具体的な審査基準の導入

- ・属人性を排除し、適切な審査基準（数値、データなど）を設定
- ・3D形状データやP-FMEAシートの現物確認を必須化

DRを成功に導いた3つの重要プロセス

🔍 準備・事前検出

問題の芽を事前に
あぶり出し、DR本番
の質を担保

⚙️ 進行・根本審査

事象の表面的な指
摘ではなく、根本原
因を深く叩く

📊 フォロー・再確認

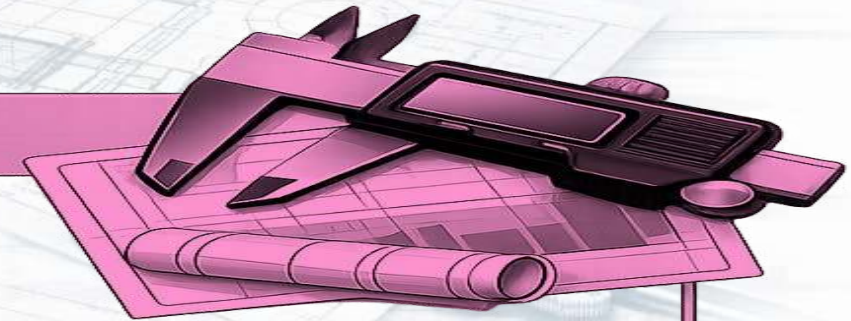
対策の確実な実施と
プロセスへの定義を
見届ける



事例 2：【属人化】から【資産化】へ！

～設計ロジックの可視化～

暗黙知を形式知化へ



「属人的な暗黙知」から「組織の資産」への転換プロセスを実現！

【技術伝承のブレイクスルー】『属人化』から『資産化への転換』



意識の変革

✕ 現状

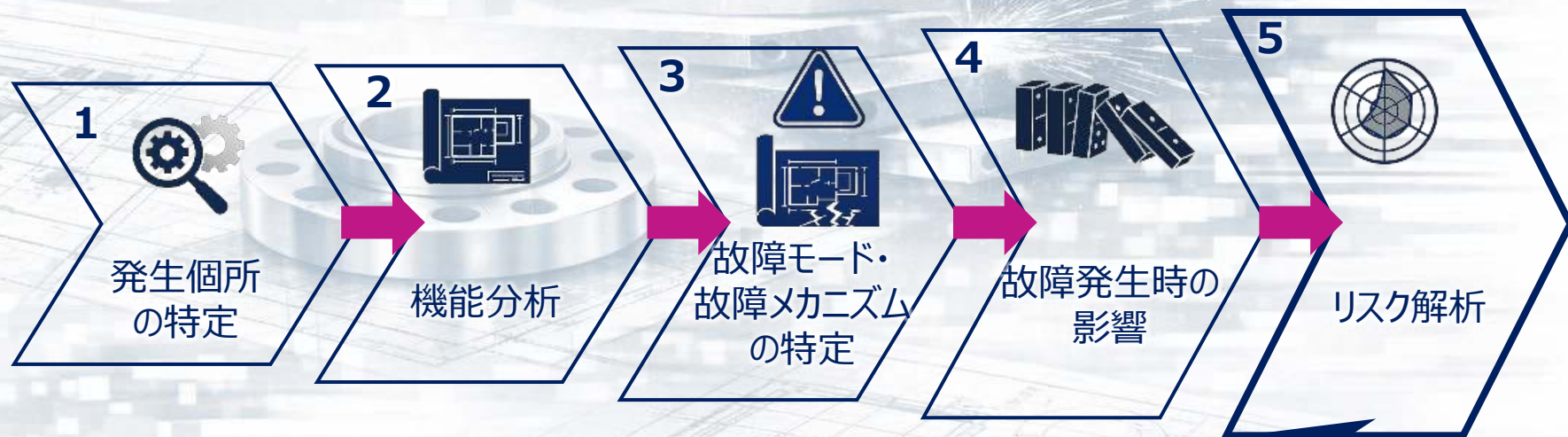
リスクが明確になっていない！

形だけ、シートを埋めるだけの
FMEAはやめましょう！

○ 未来

部品の問題がシステム全体に
どう影響するのか？

単なる座学ではなく、FMEA
シートに基づく実践的なリスク解
析手法を学びます！



発生頻度 × 厳しさ × 検出度 = リスク優先度/RPN



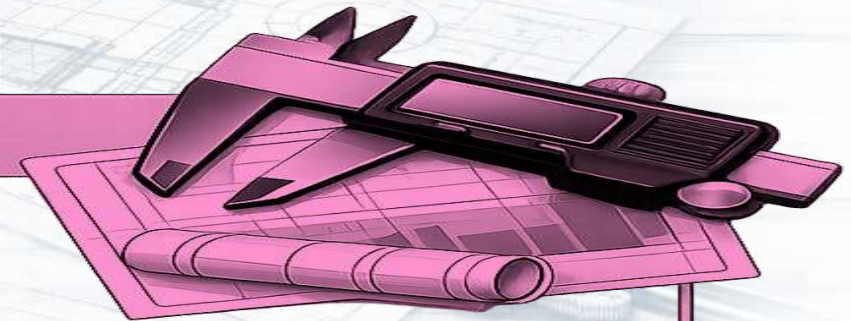
局所的な故障をマクロな視点で捉え直すことが、実践的リスク解析の第一歩です！



事例 3：人財定義

～潜在ニーズの獲得と、モチベーションを高める！～

成果に応じた評価システム



曖昧な評価軸を排除し、事前に定義されたスキル要件と実際のパフォーマンスを照らし合わせることで、技術者の納得感とモチベーションが飛躍的に高まります！

製造業における「真の人財定義」とアサインメントの実現



表面的な要求から脱却し、潜在ニーズと実成果に基づく公平な評価システムの構築

1 人財定義は上手くいかない理由

【失敗の根本原因が不明瞭になっている】



顧客や現場の「表面的な要求」しか見えておらず、真の要求を把握できていない！
その結果、設計者の真の能力やプロジェクトの要件を見誤りスキルに応じた適切なアサインができないと言う致命的な課題を引き起こしている

2 人財定義を上手くやる方法

【真の要求と評価システムの構築】

フィールドワークによる真の要求の獲得
現場での観察やインタビューを通し、担当者自身も気づいていない「真の要求」を獲得し、手戻りのない製品仕様定義を実現！

タスク・スキルの詳細定義
設計者の業務プロセスとタスク・スキル要素を解像度高く定義し、属人化を防ぐ明確な基準を設定！

実成果に応じた評価システム構築
定義したスキル要素に基づき、実際のパフォーマンスを多角的に評価・可視化する仕組みを作り、設計者のモチベーション向上を狙う！

3 技術で重要な5つのスキル項目

以下の項目を詳細に定義し、実成果としてレーダーチャート等で可視化・評価します

- ・仕様化
- ・レイアウト
- ・DFM/DFA（製造性/組立性考慮設）
- ・CAE解析
- ・プロジェクト管理

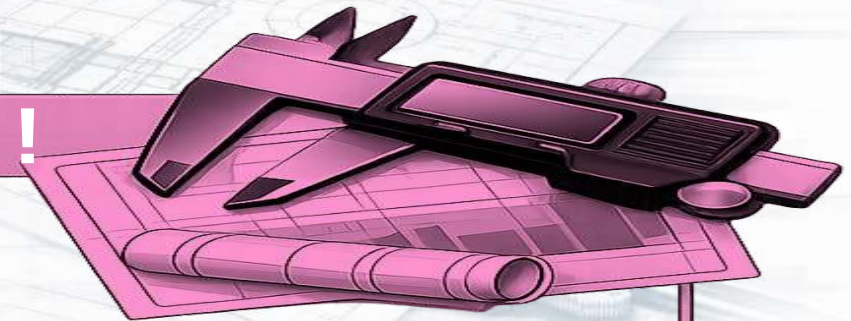
	仕様化	レイアウト	DFM DFA	CAE 解析	PJ 管理
佐藤					
田中					
鈴木					
高橋					



事例 4：実製品で学ぶ、現場で使えるFTA/FMEA

～座学を脱却し、品質トラブルを根本から防ぐ超実践アプローチ！～

網羅的分析手法を「社内の当たり前」に！



顧客要求をクリアし、現場の技術力を次のステージに導きます！

実製品を用いたFMEA/FTA教育と実装



なぜFTA/FMEAは
失敗するのか？



社内のノウハウ不足

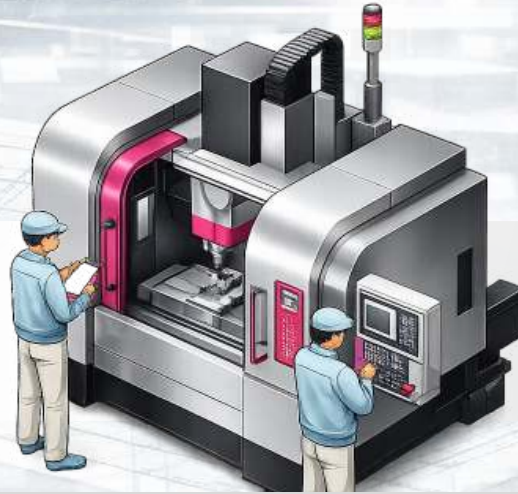
顧客から強い要求があっても、どこから手をつければいいのか分からない

一般論の「座学」で終わる

現場のリアルな装置に結びつかず、書類作りが目的化してしまう



現場主義の「上手くやる」
アプローチ



実機を用いた超実践的講義

抽象的な話ではなく、自社の「実製品」の機能・構造を直接見て学ぶ

過去のトラブル履歴のヒアリング

現場で実際に発生した不具合データを徹底的に掘り下げる

現場密着の伴走支援

分析手法が社内に完全に定着するまで、一緒に手を動かしサポート



現場を守る4つの
重要技術



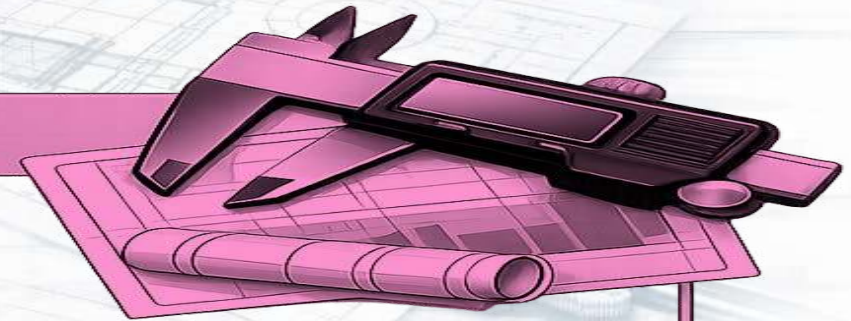
- ✓ **原因解析**：トラブルの「真犯人」は何か？を探る
- ✓ **影響分析**：その異常が、製品や工程に「どう波及するか」を読む
- ✓ **対策検討**：二度と起こさないための「具体的な歯止め」を決める
- ✓ **故障モード**：機械や部品が「どんな壊れ方をするか」のパターンを知る ©



事例 5：次世代スマート工場の「最適化」

～手戻りゼロ・高ROIを実現する総合管理アプローチ！～

抜け漏れゼロは実現する！

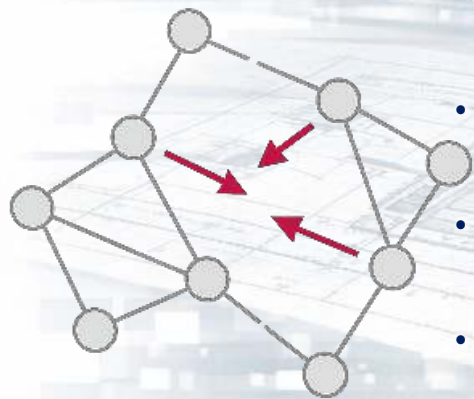


曖昧な仕様を撲滅し、QCDRを最適化する！
貴社のプロジェクトを確実な成功へと導きます！

老朽化工場建替え・設備更新での大規模コストダウン



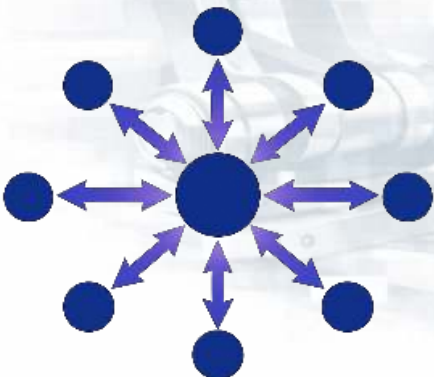
従来の限界



- ・全体像不明による仕様迷走
- ・点と点の未接続による連携の抜け漏れ
- ・手戻り連発、コスト増大

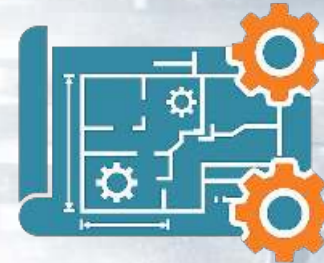


成功へのアプローチ



- ・「あるべき姿（全体像）」の決定
- ・専門チーム（F-Plus）による一気通貫の統合管理
- ・メーカーの壁を越えた最適化

統合管理を支える中核技術



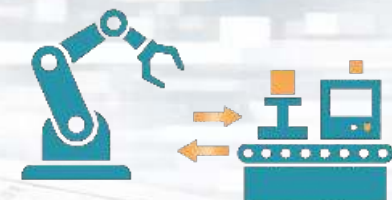
レイアウト設計とROI設定



統合管理システム
（統合PC＋統合PLCの連携）



自動倉庫・自動搬送車
（AGV/AMR）連携



各種自動機・ロボットの
WCS/MWSの連携

圧倒的実績・老朽化工場建替え・設備更新事例



2.6億円
建屋コストダウン

6,800万円/年
設備ROI

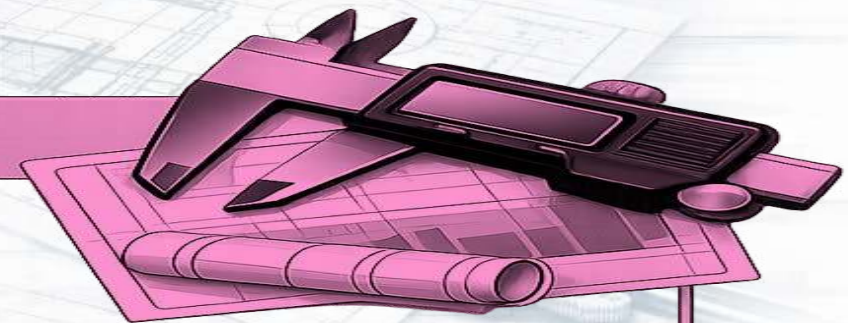
25%超
生産性向上



事例 6：物流/梱包ラインの完全自動化

～圧倒的投資対効果（ROI）！～

完全自動化の「壁」を突破する！



失敗の真因と、確実な投資回収（ROI）を実現する3つの方法！

【課題】なぜ、完全自動化の構築は上手くいかないのか？



最大の罠：最適なROI検討の未実施（または実施不能）

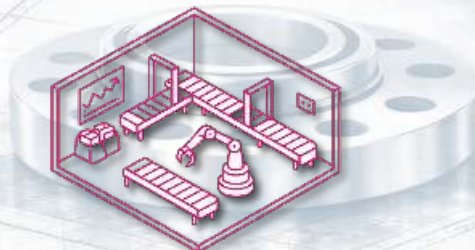
製品製造アウトソーシングから移管に伴う多品種少量生産・物流・パッキング・移管など、複雑な要件に対して「導入ありき」ですすめるため、費用対効果が不透明なまま頓挫するリスク！

【解決策】確実な自動化へ導く「成功の3本柱」



1. 徹底したROI算定

- ・設備要目表作成に基づく精密な測定
- ・大/中/小項目に細分化したコスト算出



2. 空きスペースの有効活用のレイアウト設計

- ・既存動線の分析と「あるべき姿」の再定義
- ・デッドスペースを極限まで排除した高効率レイアウト設計



3. 確実なシステム移行計画の策定

- ・物流・梱包・移管の自動化ステップ構築
- ・既存製造ラインを止めない安全な実行計画

投資金額

2.7億円

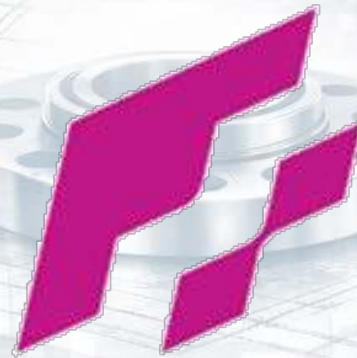
年間効率

約7,000万円

回収期間

わずか4年

【プロジェクト マネジメント は単なるイベントではありません】 「永続的な『仕組み作り』です」



F-PLUS Inc.

プロジェクト推進の危機を乗り越え、強靱プロジェクト推進可能な組織へ！
知識を企業の資産に変える変革を、ここから始めましょう！

「あるべき姿」を、現場の実現に！



戦略を美しいレポートに描くだけで終わらせない！

F-Plus は、お客様の現場に入り込み、「泥臭い課題の抽出」・「プロセスの再構築」・「人材の育成」そして圧倒的な費用対効果と、成果創出の最後まで共に走り抜ける真のパートナーです！

詳しいお話や、悩み事はホームページの「お問い合わせ」または、以下へお問い合わせください

info@f-p.tokyo

End of File



Enjoy your Monozukuri ![©]